※令和４年度以降入学生用

学校番号	3015

令和４年度　情報科

教科	情報科	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	最新情報Ⅰ（実教出版）						
副教材等	ポイント整理情報モラル（数研出版）、プログラミング入門 JavaScript 編（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、社会の様々な事象を情報科の観点で捉え、自ら問題解決を行う活動を行います。
・「問題の明確化→解決策の検討→データの収集→データの整理・整形→データの分析→データの可視化→結果の解釈→一連の流れの評価」の一連の過程で情報を活用した活動を行います。
・A4 プリントが収まるファイルを用意してください。
・授業の中で、毎時 B5 プリントや A4 プリントを配布します。分析の結果や考察の記録・座学の内容などを記録します。
・プログラミングやデータ活用について扱う授業では、情報に関する知識・技能を身に付け、問題解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に使用することができるよう、意欲的に授業に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

・日常の様々な問題を解決する為に、情報に関する法律やマナー、個人が果たす役割について科学的に理解し、情報機器を適切に活用するために必要な技術を身に付けることができる。
・様々な事象を情報科の視点から捉え、アルゴリズムを自身で構築するなど行い、問題解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用することができる。
・情報や情報技術を適切かつ効果的に使用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身に付けることができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	問題解決のためのコンピュータ活用	○問題解決 ○情報モラル ○著作権 ○情報セキュリティ ○アナログ/デジタル変換 ○プレゼンテーションの利用	a:情報セキュリティの仕組みに関心を持ち、ネットワークを安全に活用することができる。 b:情報システムや提供されるサービスの活用の在り方について考えている。 c:情報機器を用いて相手に伝わりやすい資料作りが出来ている a:情報セキュリティの仕組みに関心を持ち、ネットワークを安全に活用しようとしている。a:情報セキュリティの仕組みに関心を持ち、ネットワークを安全に活用しようとしている。	・定期考査	・定期考査	・授業内課題 ・授業内態度 ・スライドショーの発表
二学期	情報通信ネットワークとデータの活用	○表計算ソフトの利用	a:表計算ソフトを用いて適切にデータの並べ替えや抽出・データの処理をすることができる。 b:問題解決の目的や内容に適したデータを選択し収集・分析・可視化することができる。 c:問題解決のためにオープンデータやサンプリングなどデータを主体的に収集しようとしている。	・定期考査 ・授業内課題	・定期考査 ・授業内課題	・授業内課題
		○情報通信ネットワーク	a:通信方式の種類やその違いについて説明できる b:目的に沿って LAN を構築する情報機器の接続を適切に考えることができる。 c:実際に利用しているネットワークの構成について自ら調べ、問題解決につなげようとしている。	・定期考査	・定期考査	・定期考査

※令和４年度以降入学生用

三学期	問題解決のためのコンピュータ活用	○プログラミングの利用	a:アルゴリズムやフローチャート・アクティビティ図・基本制御構造について説明できる。 b:プログラミングの目的や実行問題解決の為の様々な方法を考え、目的に応じて適切な解決方法を選択することが出来る。フローチャートを用いてアルゴリズムを考え、プログラムを作成することが出来る。 c:問題解決のためのアルゴリズムを考え、粘り強く試行錯誤しながらプログラムを作成することができる。作成したプログラムを改善し、より効率的なプログラムを作成する努力を惜しまない。	・定期考査 ・授業内課題	・定期考査 ・授業内課題	・定期考査 ・授業内課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度